

受付番号

2025-48

許可番号

大歯医倫 第 111441 号

研究課題名

メディアを活用したオーラルフレイル予防の取り組み

研究責任者

中塚 美智子

申請者

中塚 美智子

研究終了日

2028 年 3 月 31 日

所属

医療保健学部口腔工学科

所属

医療保健学部口腔工学科

職名

教授

職名

教授

申請の概要

オーラルフレイルでは、食べこぼしやむせが多くなる、食べ物が嚙めない、滑舌が悪くなるといった症状がみられる。口の機能が衰えると、誤嚥性肺炎や心身の機能低下につながる「フレイル」にも影響を与えるため、特に高齢者は口や舌を動かす口腔体操等、口の機能低下を防ぐ対策が望まれる。

ところで、1995年に発生した阪神淡路大震災における災害関連死の約4分の1は誤嚥性肺炎で、以後、高齢者の死因の上位を占めることが明らかになってきた。将来南海トラフ地震等、大規模災害の発生が懸念される中、避難所等での、特に高齢者の誤嚥性肺炎による災害関連死を防ぐことは重要な意味を持つと考えられる。しかし、発災直後に歯科医療従事者が被災地に入り、オーラルフレイル予防対策を速やかに実施することは難しい。

そこで、本申請研究では、避難所等での高齢者の誤嚥性肺炎による災害関連死を防ぐため、まず発災直後から被災市民を対象にメディア（コミュニティFMラジオ）を通じていち早く提供できる、オーラルフレイル予防プログラムを開発する。次に、開発したプログラムをコミュニティFMラジオで定期的に放送し、口腔機能低下の集団予防に効力を発揮するか否かについて検討する。

コミュニティFMラジオでオーラルフレイル予防プログラムを定期的に放送できれば、一度に多くの人々が日頃からオーラルフレイル予防に取り組むことが期待できる。また、フレイル、オーラルフレイルについての一般市民の認知度が高まり、脳機能の活性化や高齢者の健康寿命の延伸、さらには国民医療費や介護にかかわる費用の増加抑制につながることも期待される。